【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公開番号】特開2016-72663(P2016-72663A)
【公開日】平成28年5月9日(2016.5.9)
【年通号数】公開・登録公報2016-027
【出願番号】特願2014-196836(P2014-196836)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/93　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/93　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月22日(2017.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動画および前記動画のぶれ情報を記憶する記憶部と、
前記動画の再生中に、前記ぶれ情報に基づいて電子的に再生防振を実行する再生防振部と、
前記ぶれ情報に基づいて、前記再生防振を行う再生防振区間と、前記再生防振を行わない区間で用いられる第１のズーム倍率とは異なる前記再生防振区間で用いられる第２のズーム倍率とを前記動画に設定する制御部と、
を備え、
前記制御部は、前記第１のズーム倍率および前記第２のズーム倍率の一方から他方まで変化させる変化区間を前記再生防振区間の前後の少なくとも一方に設けることを特徴とする画像再生装置。
【請求項２】
前記制御部は、前記ぶれ情報に含まれるぶれ量が所定の閾値以上となる前記動画の範囲を前記再生防振区間と設定することを特徴とする請求項１に記載の画像再生装置。
【請求項３】
前記ぶれ量は、前記動画を構成する各フレームの間の動きベクトル量の変化であることを特徴とする請求項２に記載の画像再生装置。
【請求項４】
前記制御部は、前記変化区間を前記再生防振区間の前後の両方に設けることを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の画像再生装置。
【請求項５】
前記制御部は、前記ぶれ情報に含まれるぶれ量の大きさに基づいて、前記第２のズーム倍率を決定することを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の画像再生装置。
【請求項６】
前記制御部は、前記ぶれ情報に含まれるぶれ量の大きさに基づいて、前記変化区間の時

間の長さを決定することを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の画像再生装置。
【請求項７】
Ｎ番目の前記再生防振区間の後に設けられた前記変化区間と、Ｎ＋１番目の前記再生防振区間の前に設けられた前記変化区間とが隣接する場合に、前記Ｎ番目の前記再生防振区間の後に設けられた前記変化区間および前記Ｎ＋１番目の前記再生防振区間の前に設けられた前記変化区間を除去して、前記Ｎ番目の前記再生防振区間と前記Ｎ＋１番目の前記再生防振区間とを連結することを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の画像再生装置。
【請求項８】
前記変化区間の時間は、前記再生防振区間の最大ぶれ量に対応する最大ズーム倍率に対して、変化時間＝定数×最大ズーム倍率の関係を有することを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の画像再生装置。
【請求項９】
動画および前記動画のぶれ情報を記憶する記憶部と、
前記動画の再生中に、前記ぶれ情報に基づいて電子的に再生防振を実行する再生防振部と、
前記ぶれ情報に基づいて、前記再生防振を行う再生防振区間と、前記再生防振を行わない区間で用いられる第１のズーム倍率とは異なる前記再生防振区間で用いられる第２のズーム倍率とを前記動画に設定する制御部と、
を備え、
前記制御部は、前記第１のズーム倍率および前記第２のズーム倍率の一方から他方まで変化させる変化区間を前記再生防振区間の前後の少なくとも一方に設ける
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項１０】
再生すべき動画のぶれ情報に基づいて、再生防振を行う再生防振区間と、前記再生防振を行わない区間で用いられる第１のズーム倍率とは異なる前記再生防振区間で用いられる第２のズーム倍率とを前記動画に設定することと、
前記第１のズーム倍率および前記第２のズーム倍率の一方から他方まで変化させる変化区間を前記再生防振区間の前後の少なくとも一方に設けることと、
前記再生防振区間において前記ぶれ情報に基づいて電子的に前記再生防振を実行することと、
を備えることを特徴とする画像再生方法。
【請求項１１】
コンピュータに、
再生すべき動画のぶれ情報に基づいて、再生防振を行う再生防振区間と、前記再生防振を行わない区間で用いられる第１のズーム倍率とは異なる前記再生防振区間で用いられる第２のズーム倍率とを前記動画に設定することと、
前記第１のズーム倍率および前記第２のズーム倍率の一方から他方まで変化させる変化区間を前記再生防振区間の前後の少なくとも一方に設けることと、
前記動画の再生中に、前記再生防振区間において前記ぶれ情報に基づいて電子的に前記再生防振を実行することと、
を実行させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
実施形態の一観点によれば、動画および前記動画のぶれ情報を記憶する記憶部と、前記

動画の再生中に、前記ぶれ情報に基づいて電子的に再生防振を実行する再生防振部と、前記ぶれ情報に基づいて、前記再生防振を行う再生防振区間と、前記再生防振を行わない区間で用いられる第１のズーム倍率とは異なる前記再生防振区間で用いられる第２のズーム倍率とを前記動画に設定する制御部と、を備え、前記制御部は、前記第１のズーム倍率および前記第２のズーム倍率の一方から他方まで変化させる変化区間を前記再生防振区間の前後の少なくとも一方に設けることを特徴とする画像再生装置が提供される。